

道央地域より新年ご挨拶

北海道統括支店 道央支店長 櫻井 孝夫

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、弊社取扱いの製品・商品をご愛顧頂きまして誠に有難うございました。

昨年を振り返りますと全国的な異常気象から、道内では春先低温から始まり農作業の遅れが有り、逆に夏季は雨不足、お盆明けは長雨など 台風も多く日本に上陸し被害の発生した地域もあり、目まぐるしい1年でした。

しかし、NHK 朝の連続テレビ小説『あまちゃん』や『楽天イーグルス』の優勝など東北の明るい話題も有り日本中に元気と感動をもたらした1年でした。

昨年の11月仙台市で開催された『第65回日本酪農研究会 全国大会』で、改善賞（太田賞）を受賞された中標津地方連盟 筒井 鈴子さんは、当社と酪農総合研究所が共同で「経営実証農家調査」牧場でも有り本当におめでとう御座います。

最終日 地元復興現地視察では、奥松島に行き現地ボランティアガイドの話を聞く機会があり非常に良い体験に成りました。改めて、日本人の『絆』を強く考えさせられたところです。

さて、TPP交渉のゆくえについては稲作減反政策の変更等不透明な事が山積していますが、農業・食糧・環境の重要性は今後も変わらず今いっそう北海道の農業の底力を示す時代がきています。

ここ近年は配合飼料価格の高騰などで粗飼料増産の見直しが行われ、関係機関を中心に草地の植生改善が各地で実施されています。

優良草地拡大に向けて当社も簡易更新の見直しなどの取り組みを進める予定です。

自給飼料・生産乳量の改善に向けて『草の力』を発揮させたいと思っています。

平成26年の、干支は、『午年』です。

日本の競争馬の9割以上生産を生産地する北海道は馬産地です。良い馬・牛を生産するにも、お互いに『良い草』が大切と考えます。

道央支店の各拠点、道央・八雲・旭川・豊富営業所では、所員一同酪農畜産経営の安定化に貢献する為、現地での自給飼料増産の取り組みを継続して参りますので、今後ともご相談頂ければ幸いです。